



宇都宮大学
UTSUNOMIYA UNIVERSITY

UU now

ユー・ユー・ナウ
Vol. 16

発行：宇都宮大学 編集：広報室
〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350
TEL 028-649-8649 FAX 028-649-5026
URL <http://www.utsunomiya-u.ac.jp>
E-mail plan@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

わが道を往く

OB INTERVIEW

キャンパスは若い血を蘇らせてくれる

パリに暮らして40年、フランス語を交えながら自由奔放な生き様をユーモアたっぷりに語る白井さん。その話には母校・宇都宮大学への愛着が滲む。

（取材／教育学部3年・岩上恭丈）

■恩師の油絵

「やはり、いいね。力強い。大学本部応接室に掲げられた故矢口洋氏の油絵『水差しのある静物』をじっと見詰めながらつぶやく。やがて、柔らかな表情に変わる。取材前の白井さんの印象的な姿だ。

戦後の栃木県美術界をリードし、宇大教育学部で美術教育の実践に精力的に取り組んだ矢口氏の絵との出会いが、自身の将来を決定付けた。

高校卒業後、6年間小学校の代用教員として「山の分教場」で過ごす。当時、田舎では油絵

を直に目にする機会はなかった。初めて目にした本物の油絵が、宇都宮市のギャラリーで開かれていた矢口氏の個展だった。

「熱っぽい作品を見てびっくりした。すごい絵だと思った」。その時の鮮烈な印象を今もはっきり覚えていいる。「先生がいる宇都宮大学に入学したい」。

24歳で、美術科に入学し、矢口教授の教えを受ける。卒業後は故郷、矢板市の中学校で美術教師となる。「また、山の学校に戻って、放課後、風景の絵を描いて暮らす。一生、『山の先生の先生』でもいいなと思った」。

それが、突然、穏やかな教師の暮らしを捨て、「油絵の本場で学ぶ」ため渡仏、パリ国立美術大学に入学する。「(フランス留学をしている) 矢口先生の真似をしてね。絵もそうだけど、アルチュール・ランボーや、ボードレールなど文学を通してフランスへの憧れがありました」。

■未来は予測していなかった

「まったく未来は予測していなかった。パリでの生活は、ただただ絵を描いて、美術館に通い、仲間と語り合った。68年の「5月革命」のときは学生と一緒にカルチュラタンをデモった。『デカダンスな、ニヒルな、そんなものをひきずっていた。パリに行ってから学生時代の延長だった」。

「絵描き」として生きていくことを決意したのは、50歳を迎えようとしているときだった。パリの文化団体が主催した白井氏の個展が評判を呼び、地元メディアも好意的に取り上げてくれた。「自信が持てるようになった。これでプロを宣言してもいいだろうと思った。それにしても(50歳を前にしての)プロ宣言は、ゆっくりですね」。

いまは、南仏プロヴァンスの自然を描く。「高原山の麓で育ちましたから、年をとるにつれソバージュというか、野性味っぽいものに引かれるようになった。プロヴァンスはそういうところがいい。光がすばらしい。ルミエールですね」。

春から夏にかけて農家に滞在。リラの花が咲き、サクランボが実を結ぶ。「なぜ、うちのサクランボを採りに来ない」「俺のつくった酒を飲め」と、村人たちが親しく声を掛けてくる。この楽園で、朝から陽が落ちるまでデッサンをして過ごす。光と影の見事なコントラストが創作意欲をかきたてる。「ああ、フランスへ早く帰りたい。向こうで死んでもいいなと思っている」。

■大学時代のエスプリ

宇大を訪ねるのは卒業以来という。「キャンパスに足を踏み入れたら若い血が蘇ってきた。75歳のお爺ちゃんだけど、まだまだ少年のようなところがあるのは、暴れまわった大学時代のエスプリが残っているからかな」。

「キャンパスの雰囲気が好きだった。一生ここで仕事ができたらいいなと思った。卒業する時は正門に掲げられていた宇大の看板を奪い去ってしまった」と笑う。

なぜ、宇大の看板を? 「(愛着のある大学の) 看板を抱えて一生過ごしたかったのかな。何か、逸脱したことをするのが好きだったのかもしれない。いま話していると、そういう血がまた沸いてきます」。

インタビュウの後、懐かしの旧講堂内での写真撮影。側らの夫人の視線に照れながらカメラマンの要求に応えポーズをとる姿は、とても楽しそう。それから4日後、日本を離れた。後輩へ残したメッセージは、「わが道を往きなさい」。

画家

白井 永雄
Usui Nagao

[うすい・ながお]1933年栃木県矢板市生まれ。61年宇都宮大学学芸学部(現教育学部)美術科卒業後、中学校美術教師。67年渡仏、パリ国立美術大学で学ぶ。サロン・ドートンヌ入選。80年ニューヨーク国際美術展招待出品、フランス代表として銀賞受賞。82年パリ文化団体A.M.O.R.C主催により白井永雄個展開催。毎年、日本で個展を開催。パリ在住。

2008年(第12回)世界アルティメット&ガッツ選手権大会
金メダル

フライングディスク部

国際大会で金メダルを獲得

第56回
全日本学生弓道選手権大会
優勝(男子個人の部)

弓道部

一立ち一立ちを大切に
した無心の勝利

個人戦には全国から約500人が出場、その頂点に立った。まったく優勝を意識せず、「一立ち一立ちを大切に」試合に臨んだ無心の勝利だった。優勝が決まった時は実感がなく、試合終了後、個人戦の男女優勝者、団体戦男女優勝校の代表が「納射」を披露することになり、その4人のうちの1人に選ばれたとき優勝を実感した。

高校時代は、新潟県の強豪校、長岡高校の主将としてインターハイに出場している。弓道は精神的な面が結果に表れる。技術ばかりだけではなく、精神面、普段の生活面も鍛えられるところが魅力という。

小宮山さん 全国大会優勝は初めての経験。自信にはなりましたが、宇大の先輩も、他大学の選手もすごく強いので過信しないようにしたい。次また勝てるわけではない。団体戦では自分の成績がよくなかったんで、団体でもよい成績を残せるようにしたい。

小宮山翔平さん(教育学部1年)



写真提供 JFDA

「Chaoz★(チャオズ)」所属の3人が出場したジュニア(19歳以下)ウィメン部門で、日本はこのクラス初の金メダルを獲得した。天田さんは大会最多得点賞の活躍だった。

竹田さん 全日本チームの選手はレベルが高く、頑張ろうという反面、辞めてしまいたいと思ったときもあった。最後まで続けたことでうまくなることができたし、いろいろな人とも出会えることができた。

山本さん 全日本のチームメイトと国内の大会で会う機会があり、一緒に(フライングディスクを)頑張れる仲間が他の大学にもいるということは向上心につながる。自分の役割をしっかりと果たすことでチーム力がアップすることを実感させられた大会だった。

天田さん 全日本チームの一員として世界で戦ったことで、高いレベルの選手がいることを知り、自分もそのレベルまで行きたいと思うようになった。広い世界を知って、高い目標を持てるようになった。

写真右から
山本咲さん(農学部2年)
竹田茉莉さん(同)
天田優美さん(同)

第57回関東甲信越大学体育大会 準優勝

男子バレーボール部

チームワークで強豪・筑波と
対等に戦う

決勝の相手は筑波。大学ではトップクラスの強豪だ。この関東甲信越大会は例年、二線級の選手を出してくる筑波が、今年度はAチームで本気で戦ってきた。そのAチーム相手にフルセットまで持ち込む戦いができたことには、「満足している」。「でも例年通り、筑波がBやCチームだったら優勝できたかも。やはり優勝したかった」(久田主将)。

男子チームは関東大学春季リーグ3部で優勝し、秋季リーグから2部に昇格した。春は負けなし、実力的に下位チームが多く気を引き締めて戦い勝利を重ねるごとにチームとしてのまとまりが生まれた。その勢いで秋のリーグは「当たって砕けるの気持ち」で闘うことができ、「充実した1年だった」。

久田さん 今年のチームになってから全員バレーを意識してやってきた。どうしてもエースの大木貴之(教育学部2年。Vリーグのチャレンジリーグで最優秀新人賞を獲得している)にボールが集まり、大木頼りになってしまうところがあったので、全員で戦うバレーを心掛けてきたことがよかったと思う。試合のほとんどは東京で開催される。「せっかく東京まで行くのだからいい試合をして宇都宮に戻ろう」という気持ちで試合に臨むようにしている。そういう気持ちの面で宇大はまとまりがあると思う。[主将・久田利彦さん(教育学部4年)]



第57回関東甲信越大学体育大会 優勝

女子バレーボール部

プレッシャーに耐えての3連覇

大学関係者などから3連覇への期待が強かった。特に4年生はプレッシャーを強く感じていた。その重圧を跳ねのけての優勝だった。

大きなヤマは、実力校・筑波との対戦となった準決勝。粘りに粘った末にフルセットで破り、その勢いで優勝へ勝ち上がった。



女子チームは関東大学リーグの2部に所属。他の大学に比べ大型選手が少ない小柄なチーム。それだけに「粘り強いレシーブ」を心掛け、繋ぎのバレーが特徴だ。秋のリーグは、例年教育実習で3年生の半数が出場することができなく、厳しい試合が続く。その中で3位という成績を残すことができたが、1部との入れ替え戦を逃したことに悔いが残る。

北郷さん チーム全員が3連覇を強く意識し戦ったことが優勝できた要因だと思う。次の春季リーグでは、私達が果たせなかった1部に昇格してもらいたいです。4年間、楽しい事ばかりではなく、負けて悔しい思いを沢山したが、部活に入っていない人には、4学年が1つの目標に向かい練習を重ね、勝利した時の喜び・感動は分からないと思う。後輩たちには、後悔しないよう、これからの試合を1つひとつ大切にしてもらいたい。

[主将・北郷直美さん(教育学部4年)]

全国国公立大選手権初出場に繋がる力泳

最大の目標の

第15回東日本国公立大学室内水泳公認記録会
50m平泳ぎ1位

水泳部

この大会は冬場（08年2月）に開かれ、オフシーズンのモチベーションを下げないために参加している大会で、この年から公認記録会に格上げされた。50m平泳ぎで優勝という好結果を残し、今シーズン最大の目標としていた8月の全国国公立大学選手権水泳競技大会出場に繋げることができた。同大会の出場は大学入学以来初めてで、50m自由形とリレーに出場した。

水泳部は3年生の前期シーズンで現役を引退する。郷津さんも引退し、就職活動を進めている。「水泳は、自分に合っているスポーツ。これからも何らかの形で続けていきたい」。

郷津さん 部活を通して人間的に成長できた。OBと関わることが多いので、目上の人との対応などを学べた。体育系だから、根性というか、頑張ればなんとかなるということも学べた。個人競技だから楽をしようとすれば、いくらでも楽ができる。そこを、敢えて頑張る。自分のやる気次第でいろいろできる。そこが部活のいいところ。そういうことが日常生活にも生かされていけばいいと思う。

郷津陽祐さん（農学部3年）



第57回関東甲信越大学体育大会 2位

男子ソフトテニス部

ベスト8の壁を破る会心の結果

前衛の岡田さん、後衛の稲田さんのペア。2人にとってベスト8の壁を破ることが目標だった。稲田さんは1年生のときにこの大会でベスト8に入って以来、思うような結果を出せないでいた。昨年の大会で宇大ペアがベスト8の成績を残したため、今大会、稲田・岡田ペアはシード権を得た。昨年のペアの活躍に応えるためにも、「最低でもベスト8に入らなければと思っていた」（岡田さん）。だから、準優勝は「120%満足している」（稲田さん）。

宇大ソフトテニス部は関東学連春季リーグで6部から7部に降格したが、秋のリーグは7部で優勝し6部復帰を果たした。

稲田さん（大学でプレーする）最後の年なので満足のいく結果がほしいと思っていた。ずっと「結果を残したい」と思い続けていたことが、準優勝という好結果に繋がったと思う。2人とも勝ちたいという気持ちが強かった。個人戦はもちろんだが、今年は団体戦に勝った時の喜びを強く実感した。関東学連秋季リーグは4年生にとって最後の大会。そこで6部昇格という最高の成績を残せてよかった。

岡田さん 過去、それほどいい結果を残してはなかったので、この大会は調子が良かったのかな。来シーズンは後輩とペアを組むことになると思うが、しっかり成績を残せるようにしたい。



岡田聖也さん（工学部3年） 稲田翔さん（同4年）

第57回関東甲信越大学体育大会 男子400m1位（三村達也さん） 女子100m2位（森井翠さん） 女子4×100mリレー2位
国公立23大学対抗陸上競技大会 女子100m1位（橋本奈央子さん）

陸上競技部

目標はそれぞれ違っても チームとしての一体感を大切に

「陸上は個人種目だが、対抗戦の要素もありチームがまとまって大会に臨む。自分が主将のときはチームが一丸となることを意識した」と前主将の三村さん。全国で戦えるレベルの選手から県大会の決勝に残ることを目標とする選手まで、レベルの幅が広い宇大陸上部。一人ひとり目標は違っても、みんなが同じメニューで練習し、チームの一体感を大切にしている。

三村さん この大会に狙いを定めていた。ぜひ優勝したいなという気持ちで臨んだ。1位になったので満足の結果だった。来シーズンの目標は、栃木県記録の更新。そのためにはこの冬の練習次第。筋力アップを図り、春のスピード練習に繋げたい。

三村達也さん（教育学部3年）



野澤さん 予選のタイムでは1位だったので、優勝を狙いたかった。でも大会新で、思った以上の記録を出せたのでタイム的には満足している。

私が1年生の時は女子がリレー種目で全国の大会で活躍できるようなレベルではなかった。年々女子部員が増え、強くなってきているので、さらに強くなっていてもらいたい。この4年間、部活の中で貴重な経験をすることができたと思っている。

森井さん 高校からリレーを続けているが、ベストの記録を出せた。バトンを持つと別人になる。気合が入る。リレーは、仲間を信じることでモチベーションをあげられる。関甲信越大会100m（2位）は、大会会場が出身地の埼玉で、高校の時によく利用していたところだったので、慣れていたし、地元の力をもらって走ることができた。

橋本さん 私はアンカー、（前を走る）みんなの力をもらえるので、走っているというより走らせてもらっているという気持ち。国公立23大学対抗100m（1位）は、追い風参考ながら自己ベストを出せたので満足している。これからの目標は大学で最大の大会「全カレ」で入賞すること。

関口さん いい記録で満足している。リレーは、楽しさもつらさもみんなで共有できる。一緒に頑張れるところが好き。



左から4×100mリレーの橋本奈央子さん（教育学部1年）野澤麻里絵さん（同4年）森井翠さん（同3年）関口慧さん（同1年）

Circle pin-up

人類が初めて鳥になったのはいつ？
1903年のライト兄弟による飛行機、と
思っている人が多いと思いますが…実はそれよりも100年以上も前に大空に連れていって
くれた物があります。それは『熱気球』です。

学祭と同じ時期（11月下旬）、宇都宮の空が熱気球で
いっぱいになるのを見たことがありますか？栃木県は、
熱気球の聖地である渡良瀬遊水地を持ち、晴天率の高さ、天候の穏やかさ等、と



とても熱気球の飛行に適した土地です。熱気球のフライトでは、春は満開の桜とともに、夏には青々とした木々の上を、秋には色づく紅葉の中を、冬には遠くの富士山を眺めながら雪原を、ふわふわのんびりと大空を散歩できます。

『B.C.風使い』は私たちが気球に魅せられ

サークル紹介 B.C.風使い

て07年度に立ち上げたサークルです。主な活動は、週末に渡良瀬遊水地などでフライトをしています。その他に全国各地で行われる熱気球大会へのボランティア参加、県内の社会人クラブの方と大会に競技参加などさまざまな活動をしています。またクラブ内で熱気球のパイロットの育成もしています。

新しいサークルで部員も少ないですが、大空を散歩したい、大自然を相手に勝負をしたい、全国各地に友達を作りたい、地域の人と交流を持ちたいなどなど、興味がある人はどんどん連絡してください♪一緒にフライトしましょう！
We Can Fly High!! B.C.風使い会長：水沼孝光 090(7719)1348



宇都宮大学 地域貢献

宇大発ベンチャー REPORT

(有)エヌ・ピー・アール/

(有)マロニエ技術研究所/(合)ロモビリティ陽東

私の専門分野は高分子合成であり、「環境に適応した機能性高分子の合成と高分子材料の再生利用技術の開発」を研究テーマとして環境配慮型の新しい高分子素材づくりとプラスチック廃材の有効利用を目指した研究を進めています。



研究室で試作したマニキュアを学生らと評価している (右・筆者)

宇大発ベンチャー第1号
(有)エヌ・ピー・アール
取締役 木村隆夫
大学院工学研究科 教授

6年8月よりレッツBuyとちぎ(新商品購入支援事業)の認定商品になっています。また、同年よりインストラクターの養成講座と「おとなのぬり絵教室」をスタートさせ、人材育成、愛好者の拡大にも努め

用されるポリビニルブチラル(PVB)中間膜の廃材を利用した特殊絵の具・シールの商品開発、市場開拓を行っています。2004年7月に発明の名称「塗膜表面に凹凸形状を発現させる絵具及びシール」で特許を出願し、2005年7月に「ディンブルアート」の商標を取得し、おもしろ凸凹絵の具「ディンブルアート・カラー」として販売を開始しました。同年10月に第55回栃木県発明展覧会に出展し、栃木県知事賞を受賞することができ、200



商品化した絵の具「ディンブルアート・カラー」

ています。

本絵の具は、アルコール系で乾きが早く、乾くと表面にさざ波のような細かな凹凸(ディンプル)模様を生み出し、ステンドグラス調の作品が誰にでも簡単に作れます。つや、光沢に優れ、色鮮やかで混色自由で、無限に透明感、肉質感が表現できます。また、塗膜はシール状にもはがせ、耐熱性、耐水性、耐候性が良く、ガラス、プラスチック、タイ

ル、金属など素材を選ばずに描けます。さらに、Tシャツなど布地のペインティングにも色落ち、にじみがなく楽しく使うこともできます。本年度は「爪と環境にやさしい、はがせるマニキュア」の開発にも力を入れており、新たな商品化を目指しています。

＊問合せ先
TEL/FAX: 0287-83-0077
E-mail: n-p-r@nifty.com



光触媒活性テスター

光触媒はナノサイズの酸化チタン粒子に紫外線を照射すると、その表面で空気中の酸素および水分子に作用して活性度の高いスーパーオキシドアニオン(いわゆる活性酸素)やヒドロキシラジカルが生成される現象で、これらの活性イオンが環境中に存在する有機物、とりわけ有害なガス、排気ガス、悪臭成分の分解、細菌やウイルスの殺菌、汚染物質の分解等環境保全に有用な効果を発揮するものです。今、一番多く光触媒製品が使われているのは建築物のガラスを含む外壁材用です。これは太陽光に含まれる紫外線を利用できるからです。写真に示した光触媒活性テスターは、この光触媒活性度を検査するために開発したものです。

更に現在、我々の身近なところ、即ち屋内でも使えるようにするため、蛍光灯等の可視光で光触媒反応を起こす材料の研究開発が進められています。この可視光応答型光触媒が実現すると、一般家庭でも室内空気の浄化等屋内環境維持の切り札になるものとして大きく期待されています。

そこで平成20年度のJST地域ニーズ即応型研究開発支援事業により「可視光応答型の光触媒効果をもつ酸化チタン薄膜の開発」と、「JIS規格に対応



屋外公開実験での一枚。学生と実験室を飛び出し研究開発をしている (後列右端・筆者)

ロボットは研究から実用の段階に移っています。これまでに様々な研究論文が発表されていますが、そこでの技術はある課題を達成するための断片にしか過ぎません。ロボットは統合的な学問です。知見・技術の多くの断片を集めて、それぞれが十分に機能するように組み合わせることがロボット開発には必要です。この断片をひとつでも増やしなが

ら、これを積み上げるのが私の研究です。現在、大学ではロボットに関する基礎的な研究を進めながら、その実用的な応用を合同会社ロモ

宇大発ベンチャー第3号
(合)ロモビリティ陽東
副社長 尾崎功一
大学院工学研究科 准教授

と密に連携しながら開発を進めていく必要があります。我々が開発のターゲットとしたのは「農作業のロボット化」です。ロボットは工場等の決められた環境で決められた工程が与えられれば確実に作業を遂行することができ

ますが、状況認識や知能的な判断が必要とされる場面ではまだ実用には至っていません。まして

現在、コンソーシアム事業の成果を引継ぎ「イチゴ摘みロボット」の研究開発に取り組んでいます。名のとおり、ロボットが熟したイチゴを自分で見つけ出し、それを摘み取ります。イチゴ摘みに必要な基本機能の試作を経て、現在、イチゴの果肉にふれな

いイチゴを収穫する機能の開発に取り組んでいます。これは今までにない取り組みで、イチゴの鮮度維持に大きく貢献すると期待されています。

＊問合せ先
TEL/FAX: 028-670-8815
Email: hara@romo.co.jp
(開発部長 原 紳)

宇大発ベンチャー第2号
(有)マロニエ技術研究所
代表取締役 中井俊一
名誉教授(工学部)



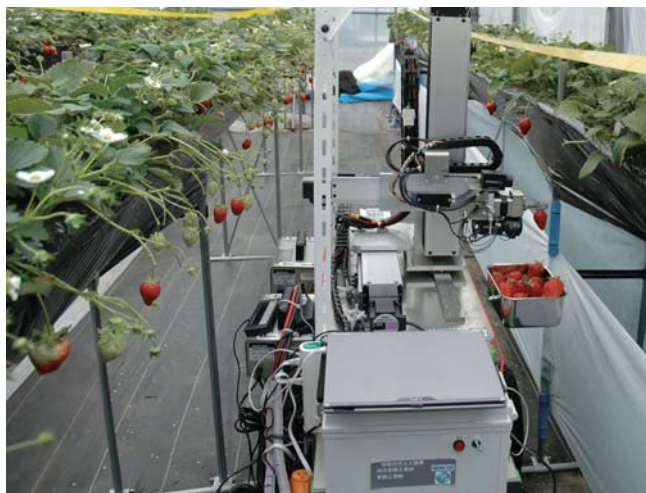
研究所の前で、筆者

した光触媒活性指数を測定できる光触媒活性テスターの開発」を宇都宮大学工学部の石井研究室、栃木県産業技術センター、丸井計器との産学官連携により進めています。

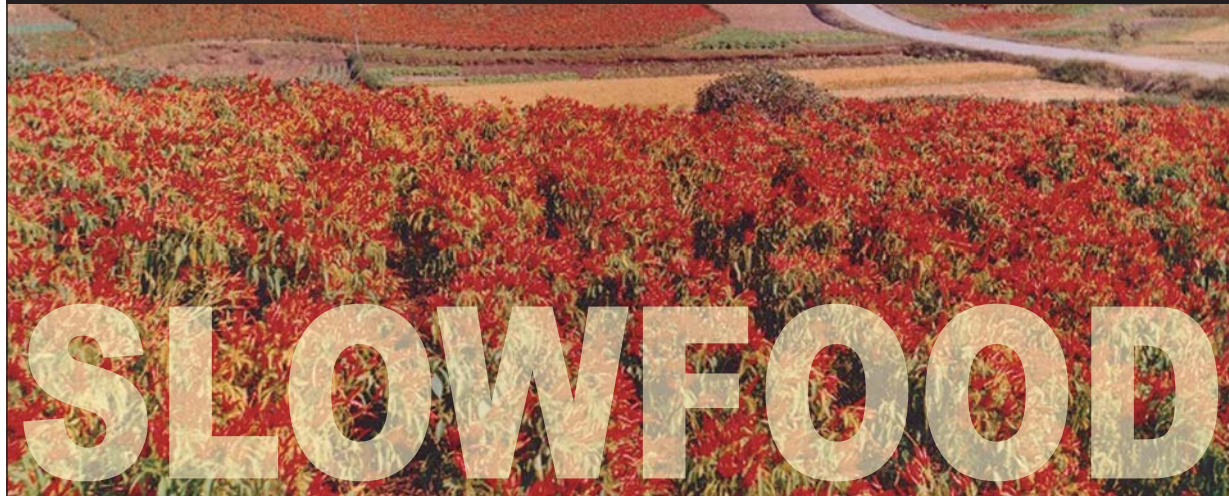
＊問合せ先
TEL/FAX: 028-634-4820
E-mail: info@marro-tech.jp

宇大発ベンチャー第3号
(合)ロモビリティ陽東

ピリティ陽東で実施しています。会社設立は、栃木県産学官コンソーシアム事業での活動がきっかけです。この事業では、市場や採算等の見積もりから、開発ターゲットを定め、それを企業や県



現在開発中のイチゴ摘みロボット



大田原の栃木三鷹唐辛子 — 畑に広がる赤いじゅうたんの再生 —

数十年前の日本では、唐辛子が盛んに栽培されていました。1963年頃には、全国で年間約7000t、そのうち大田原では年間約5000tの唐辛子が生産され、国内で消費されるほか、カレー粉などの原料として海外へ輸出されていました。その当時から大田原で栽培されていた唐辛子が、「栃木三鷹唐辛子（とちぎさんたかとうがらし）」です。栃木三鷹唐辛子は、1955年頃、栃木県大田原市の吉岡源四郎氏の手によって、八房系品種（唐辛子の品種の一つ）より分離された、大田原を発祥とする唐辛子です。辛味が強い、色調が良い、形状が揃っている、収穫量が多い、摘み取り・乾燥作業が容易、保存に強い、などの特徴があり、唐辛子の栽培・流通において、とても優れた品種です。しかし、1970年頃からの円高によって、国産の唐辛子は国際競争力を失い、今では日本全体で200t程度の生産量となり、国内消費の95%以上を輸入に頼るまでになっています。



収穫を待つ栃木三鷹唐辛子の畑（写真上）。栃木三鷹唐辛子の赤い実は、まとまって上を向いている（写真下）

ナス科に属す唐辛子は、本来乾燥に強い作物であり、水はけの良い土地で栽培されます。そのため、集中豪雨などによって畑の排水が悪くなったりすると、根腐れが起きやすくなります。3年ほど連続で栽培すると連作障害が発生しやすくなるため、唐辛子とスイカを交互に栽培したりします。意外と病気が出やすく、またアブラムシなどの害虫駆除も必要となります。さらに、順調な生育のために窒素分の栄養素が多く必要です。

大田原での栃木三鷹の収穫は、毎年10～11月頃に行われます。唐辛子の実をそのまま摘むのではなく、

収穫時に根が付いた茎ごと引き抜き、12月末頃まで天日で自然乾燥させます。その後、翌年の1～2月に乾いた唐辛子の実を摘み取ります。この摘み取り作業が大変で、栃木三鷹唐辛子の栽培面積の拡大の障害になっています。一軒の農家が栃木三鷹唐辛子を栽培している面積は約2～3アールですが、そこから得られる唐辛子の実の収穫量は約60～70kgとなります。そのため、一軒の農家で摘み取らなければならない唐辛子の実の数は約30～35万個にもなります。この唐辛子の実を摘み取る作業は、意外と指の力が必要で、思ったより手間と時間がかかります。よって、約2～3アールの面積から収穫される唐辛子から実の摘み取りを行う作業の量は、一軒の農家が毎年1～2月の2カ月間で行う作業の量の限界となっているのです。

この摘み取り作業を簡略化できれば、圃場面積の拡大とともに、農家の収益を上げることができます。そして、地域の特産品として普及させることができます。そこで、4年前から大田原市観光協会では「食」をテーマとした新たな観光資源の開発を企画する中で、平成20年度から商工会議所などを中心に「栃木三鷹普及研究会」を結成し、農家が行う摘み取り作業を楽にする道具・機械の開発を行っています。



天日に干された唐辛子（写真上）。摘み取られた唐辛子の実。（写真下）摘みとる実が多いことによる負担もさることながら、摘み取り作業中に唐辛子の成分が手や顔につきやすく、農家が音を立ててしまう。また、乾燥機による強制乾燥より自然乾燥のほうが、唐辛子のつやが良くなる。

唐辛子の辛味成分「カプサイシン」は、種子の付く胎座で作られています。辛み成分は、本来「味」ではなく刺激による「痛み」です。我々は、幼少のころから少しずつ辛さに慣れ、大人になると辛いものが食べられるようになります。そして、子どもの頃は苦手だった辛味は、大人になると料理を美味しく感じる味（？）として、欠かせないものになってくることがあります。お酒が飲めない人でも、辛みは全く平気な人もいます。また、女性の方が男性より辛さに強く、ま

た美味しく感じる、という説を信じている人もいます。

辛さを愛するグルメな人たちは、辛みのある旨さを美味しく感じるができる人であるとともに、痛みに鈍いか、痛みに耐えて頑張ることが好きな人かもしれません。唐辛子を作る企業には、「辛さに慣れさせて、辛さを病み付きにさせるのが唐辛子屋の戦略」、という話もあるぐらいです。また、唐辛子を食べるとその辛さから元気になることがよくありますが、なにも人間だけが元気になる訳ではありません。ニワトリも、餌として唐辛子を与えられると、元気になるそうです。一方で、唐辛子を嫌う動物もいます。たとえば、イノシシは唐辛子畑には近づかないらしく、唐辛子畑は害獣除けにもなるのです。



ビニールハウスの中で天日干しされる栃木三鷹唐辛子（写真上）。農家での摘み取り作業（写真下）



栃木三鷹唐辛子を使ったラー油。大田原ではさまざまな食材に地元産の栃木三鷹唐辛子を使ってPRに努めている。たとえば、とんがらしラーメン、唐辛子餃子、唐辛子どら焼き、唐辛子洋かんなど、さまざまな商品があり、販売されている。

栃木三鷹普及研究会は、地元発祥の栃木三鷹唐辛子の栽培の普及によって、地元産の唐辛子を守っていきとしています。栃木三鷹唐辛子の普及拡大は、大田原の風景を変える（原風景に戻す）ことにもつながっています。生産量がピークであった1963年頃の大田原の秋の原風景は、唐辛子畑によって、赤いじゅうたんが敷き詰められたような真っ赤な景色だったそうです。大田原のスローフードである栃木三鷹唐辛子の再生は、このような原風景の再生にもつながる夢のような事業なのです。

表題の写真：見事な赤色のじゅうたん畑が広がる昔の唐辛子畑の風景（栃木県大田原市佐久山、1962年10月15日撮影）。大田原で栃木三鷹唐辛子の普及に努めている人たちは、この風景の再生を願っている。

（農学部 野口良造）

在校生から一言

国際学部

- 各方面に飛び出す先輩方、どうかお元気で。(3年)
- 従今若許忘形、語従不通亦可通。(院1年)
- カッコいい社会人も紹介してください。(笑)(3年)
- 人生の道に迷わないようにがんばってください。(院1年)
- なんかおいしいものを奢ってください。(2年)
- いつまでも、煮敵な笑顔でいてください。(2年)



卒業生から一言

国際学部

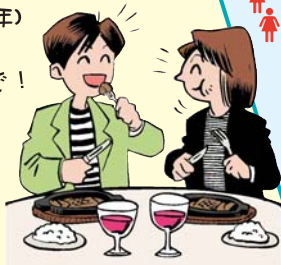
- いろんな事をしっかりと考えていきてください。
- 卒論は早めに書こう！
- いろんないい出会いをしてほしい。
- 思いっきり楽しめ！？
- 勉強もだけど、とにかくよく遊べ！！
- やりたいこともとこころやれっ



教育学部

初任給で！

- 初任給でご飯おこってください。(1年)
- 3年間一緒にいたので寂しいです。(3年)
- 飛び立ってください。好きです。(3年)
- 昭和魂を見せつけて下さい！(2年)
- 卒業しないって言ったのに…。(1年)
- 社会に出ても、大学時代を思い出して頑張ってください。(3年)
- もうおぐ春ですね♪ちょっと気取ってみませんか？(3年)
- 卒業しても、社会の荒波に揉まれながら成長して行って下さい。(3年)



教育学部

- 自由時間の多い大学生のうちに、いろんな経験をしてください。(院2年)
- 大学生のうちにいろいろなところに旅行に行くといいと思います。
- 色々なことに打ち込んで充実した学生生活を送ってください。
- 感謝の心を忘れずに、自分の信じる道を歩いてください。
- 積極的に行事に参加して、たくさんの人としゃべろう。
- たくさん遊ぶこと。でも授業だけは出しましょう。
- 何事も全力投球で！！
- やったモン勝ち、楽しんだモン勝ち！



工学部

- 社会人としての自覚を持って、お仕事がんばってください。(4年)
- お世話になりました。機会があれば研究室に遊びに来てください。(院1年)
- 卒業しても忘れないでください。(笑)(3年)
- お盆に帰ってきてください。(2年)
- 結婚式には呼んでくださいね。(院1年)
- 社会人になってもがんばってください。(3年)
- 私のこと忘れないでくださいね。(3年)
- 先輩みたいに自分も就活がんばります。(3年)



工学部

- 卒業しても忘れないよ。(笑)(院2年)
- ちゃんと4年で卒業しよう。
- 就活大変だけどがんばってー。
- 結婚式には呼んでやるよ。(院2年)
- 研究大変だろうけどがんばって。
- がんばって早く彼女つくれよ。
- 早めに就活は始めたほうがいいよ。
- みんなとの思い出は忘れないよ。



農学部

- いつまでも「夢」を持ち続けて下さい。(3年)
- これから字大での経験を活かして頑張ってください！(3年)
- 皆様の御健勝をお祈りしております。(3年)
- 今後もお体に気を付けて頑張ってください。(3年)
- これからもっと大変なことが待ち受けていると思いますが、頑張ってください!!(2年)
- 字大で過ごした濃密な時間を思い出に、これから社会に出ても頑張ってください。
- 活躍されることを期待しています。(3年)
- たくさんの事を先輩から吸収させていただきました。自分もそんな先輩たちのようになりたいです。(3年)
- 大学で得た経験や友人、全てを先輩方の励みにして、せむ新たな生活を楽しんで下さい。(2年)

農学部

- ケガと病気と単位に気をつければ大学は楽しいです。頑張ってください！
- あれもやりたい、これもやりたいで消化不良になるんだったら、一つも極めた方がカッコイイんじゃないのかなあ。
- 人に合わせず自分の選んだ道を自信を持って歩みましょう！
- そして単位は取りましょう。
- 進路の決断は早めにしましょう。同じ学年の人と仲良くしましょう。
- いっぱい遊んで適度に勉強しましょう！
- もう一回学生にいたい。
- 遊べるときに遊べ！飲めるときに飲め！(院2年)
- 大学生生活を楽しんで下さい。
- 大学って最後の自由な時間が使える貴重な時です。全力で学べ！全力で遊べ！

UUnow フォトコンテスト 『私のお気に入りのキャンパスポイント』

UUnow第15号で募集した「フォトコンテスト(テーマ:私のお気に入りのキャンパスポイント)」の結果を発表いたします。本紙学生編集委員による選考の結果、応募作品全13点の中から、最優秀作1点、優秀作2点を選ばせていただきました。ご応募ありがとうございました。なお、優秀作品応募者3名の方には、本学関連グッズを差し上げました。



最優秀作品

- 撮影場所：イギリス式庭園(峰キャンパス)
- 撮影者：大久保 達弘(おおくぼ たつひろ)
- エピソード：2008年5月下旬ちょうど満開のアメリカシャクナゲ(ツツジ科カルミア)の下で遊ぶ字大まなびの森保育園児を撮りました。樹冠の間からスポットライト的にそそく日差しの下で、満開のシャクナゲと園児の組み合わせの面白さを表現しました。



- 撮影場所：フランス式庭園・旧講堂(峰キャンパス)
- 撮影者：野口 良造(のぐち りょうそう)
- エピソード：写真は春のフランス庭園と奥の旧講堂です。2007年の春に撮影しました。天気の良い日は、本当にすばらしい景色が広がります。最も宇都宮大学らしい風景だと思っています。



優秀作品

- 撮影場所：イギリス式庭園(峰キャンパス)
- 撮影者：Y・A
- エピソード：毎日の通勤に通るイギリス式庭園のベンチです。小鳥が集まってきて、ほっとできる場所です♪



- 撮影場所：図書館北西角(峰キャンパス)
- 撮影者：板橋 久夫(いたばし ひさお)
- エピソード：宇都宮大学創立50周年の記念樹として平成11年に植樹された「楷の木」です。楷の木は、「学問の木」と呼ばれます。孔子の墓の周りに、弟子たちがこの木を植え、裏に服したと言われ、それがやがて、科学の合格祈願木となり、学問の木と呼ばれるようになりました。何かの試験の際には、この学問の木に挨拶をして、図書館で勉強すれば合格するかも知れません。写真のようにきれいに紅葉する時期は2週間ほどで、あっというまに散ってしまいます。



- 撮影場所：第一体育館(峰キャンパス)
- 撮影者：趙 瑛世(ちょう よんせ)
- エピソード：宇都宮大学プロレス研究会による学祭興行開始前の一瞬です。11月23日、学祭二日目に、第一体育館にて撮影しました。会場内は大勢のお客さんに囲まれ、リングに張ってあるロープのようにどこかピーンと緊張感をはらんでいます。このあとすぐ、学生レスラーたちによる笑いあり、感動ありの熱い試合が繰り広げられます。1年間の内、この時期にしか見ることができない場です。



優秀作品

- 撮影場所：イギリス式庭園と旧図書館の間の小路(峰キャンパス)
- 撮影者：Y・N
- エピソード：守衛さんの「おはよう」とこの小路に元気を貰う毎日です。春の新緑、夏の深緑、秋の紅葉と、毎日いろいろな表情を楽しみ(気分は)独り占めしています。紅く色づいた葉には、やはり夕陽が一番かなと思い、写真を撮影しました。



- 撮影場所：グランド横(陽東キャンパス)
- 撮影者：池田 雄太(いけだ ゆうた)
- エピソード：今年の11月学科内のソフトボール大会の休憩時間。グランド横で休んでいたとき、目に入った木々に、秋らしく葉の色が変化しているものと、秋でも葉が緑のままのものがありました。変わりゆくものと、変わらずにあり続けるもの、その2つが同時に存在するこの場所がとても印象に残りました。



- 撮影場所：1号館東側(陽東キャンパス)
- 撮影者：山村 正明(やまむら まさあき)
- エピソード：2005年4月、宇都宮大学に着任直後にキャンパス内を家族で散歩中に撮影したもの。こんなに見事に咲いた紅木蓮に思わずシャッターを押したものです。因みに、撮影者は妻で、人物の右側(禿頭)は私です。



- 撮影場所：フランス式庭園(峰キャンパス)
- 撮影者：池田 安孝(いけだ やすたか)
- エピソード：テストに疲れたときにここでもんやりと噴水を眺めていると、不思議と元気になっていきます。この噴水には何か不思議な力があるのかも知れないなあ。



- 撮影場所：フランス式庭園(峰キャンパス)
- 撮影者：N・O
- エピソード：いつも帰りに見ている風景です。一日の終わりにホッとしつつこの風景を見て子供の保育園の迎えに行きます。

学位記授与式・入学式

学位記授与式：平成21年3月24日(火)10:30～
宇都宮市文化会館大ホール
入学式：平成21年4月8日(水)13:30～
宇都宮市文化会館大ホール



宇都宮大学ホームページ URL <http://www.utsunomiya-u.ac.jp>

卒業・修了制作展

2008年度
宇都宮大学教育学部美術教育専攻
教育学研究科美術教育専修
卒業・修了制作展

期 間：3月6日(金)～8日(日)
時 間：6日(金) 13:00～18:00
7日(土) 9:00～18:00
8日(日) 9:00～16:00

場 所：栃木県総合文化センター
内 容：絵画(水彩画・油画)、彫塑(木彫・塑像)、デザイン(インテリアデザイン・ベーシックデザイン)、工芸(漆・彫金)等約30点

入場無料

●お問い合わせはこちらまで●
宇都宮大学教育学部美術教育教室
TEL028-649-5364 FAX028-649-5244

最終講義

国際学部最終講義

- ・北島 滋 教授
- ・片桐雅義 教授
- ・柏瀬省五 教授

詳細な日程等については、
国際学部総務係へお問い合わせ
下さい。

参加無料

●お問い合わせはこちらまで●
宇都宮大学国際学部総務係
TEL028-649-5164
koksomu@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

弁当容器リサイクルの取組

これからは生協のお弁当の容器が
リサイクル弁当箱
Dappy!! に変わります!!



宇都宮大学消費生活協同組合は、環境ISO学生委員会と協働して、リサイクル弁当容器「リ・リパック(通称Dappy!!)」の導入を始めました。皆様、ぜひご協力のほどお願いいたします。

環境ISO学生委員会
協力：C.C.S.
(生協学生委員会)

知財実践セミナー(4U事業)

テーマ：中小企業こそ知的財産
権を武器に!

日 時：2月20日(金) 13:00～17:30
場 所：宇都宮大学工学部アカデミアホール
申し込み：宇都宮大学知的財産センター宛
FAXまたはメールにて2月13日(金)まで

FAX：028-689-6320
E-mail：chizai@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

入場無料

●お問い合わせはこちらまで●
宇都宮大学知的財産センター
TEL028-689-6324

高校生・受験生向けWebサイト

工学部に続き、国際学部・農学部で新サイト公開!「高校生の目線」で分かりやすく、学生生活、学科・コース、教員の研究等を紹介しています。



●お問い合わせはこちらまで●

宇都宮大学国際学部総務係 TEL028-649-5164
<http://www.kokusai.utsunomiya-u.ac.jp/juken/>



●お問い合わせはこちらまで●

宇都宮大学農学部総務係 TEL028-649-5398
<http://agri.mine.utsunomiya-u.ac.jp/hpj/deptj/farm/testsite/index.htm>

首都圏北部4大学合同 新技術説明会(4U事業)

テーマ：大学のシーズを
産業界で生かそう

日 時：4月17日(金)
13:00～19:00

場 所：小山商工会議所
申し込み：宇都宮大学知的財産センター宛FAXまたはメール
にて4月16日(木)まで

FAX：028-689-6320
E-mail：chizai@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

入場無料

●お問い合わせはこちらまで●
宇都宮大学知的財産センター
TEL028-689-6324

オープンキャンパス (平成21年度)

全学オープンキャンパス

平成21年8月2日(日)開催決定!
最新情報は、本紙や本学公式ホームページで随時
お知らせします。



●お問い合わせはこちらまで●
宇都宮大学企画広報室
TEL028-649-8649

研究

Keyword

ファミファミタル
宿命の女

「鏡花一筋二十五年」

宇都宮大学教育学部教授 鈴木啓子



PROFILE

宇都宮大学教育学部教授
お茶の水女子大学文教育学部
卒業/お茶の水女子大学大学院
人文科学研究科修士課程修了/
修士(文学)
/専門分野: 日本近代文学

宇都宮大学教育学部教授 鈴木 啓子



担当ゼミの学生たちと(前列左・筆者)

私の専門は日本近代文学です。卒業論文以来、泉鏡花という作家をメインテーマにしています。25年間やってきて、少しも興味が衰えない。この数年、ますます面白く感じています。

泉鏡花(明治6年生)は、日清戦争後の明治文壇に、尾崎紅葉門下の新進作家として登場し、戦前の昭和14年に亡くなるまで50年の長きにわたって活躍しました。約300篇の小説・戯曲を残しています。『歌行燈』『夜叉ヶ池』『天守物語』はじめ多くの作品が舞台化・映画化されています。平成の今日に読み継がれています。この数年、日本の近代文学の中で、劇場で上演される回数が一番多いのが鏡花です。

鏡花との出会い

私の鏡花の読み始めは大学2年の初夏、日曜日、原宿界隈をぶらぶら散歩し、ふと立ち寄った区立図書館で、棚に並んだ『鏡花全集』の5巻を偶然手に取り、その中の『高野聖』を読みました。

中学の入学祝いに、旺文社文庫の世界の名作50冊、日本の名作50冊をセットで買ってもらい、中高で読破しましたが、最後まで読めずに残した1冊が鏡花で、おそろしくそのことが気にかかっていたからだと思っています。昼下がりの図書室で約2時間、あの時の読後感を私は一生忘れることができないと思います。地球の裏側に投げ出されたような不

卒論は、下宿にこもって鏡花全集29巻を読んでいるうちに締切がきてしまい、惨敗に終わりました。子供の頃から、本を読む以外は理数系科目が好きで、理屈でものを考えるタイプだったので、そんな私の分析的な自我が壊滅してしまったのです。文章を書くのは得意だったはずなのに、苦痛でたまらなくなってしまう。かといって他にしたいこともない。将来へのなんの展望もないまま、大学院に進学しました。あれから25年、鏡花に感動した自分を相対化し、読者一般へと普遍化していくことで、私は近代文学研究者としての自己形成を遂げてきたと

思います。

私の研究の特質は、自分はずいぶんこの作品に惹かれるのかという問いを、作品解釈を基点に、成立論と受容論の両面から検証してきたことにあります。この二つは、当初、分離した別々のアプローチでしたが、やがて、鏡花作品においては成立と受容がいかに密接に連動しているかが見えてきました。近代小説史の傍流、前近代的な異端の作家とみなされてきた鏡花文学が、いかに時代を意識して作られているか、同時代の文壇状況や文化思潮をとり入れ、読者の反応を予想しつつ制作されているか、作者の表現戦略のようなものを具体的に実証できるようになってきました。

最初に述べたように、近年の鏡花舞台の盛況ぶりには目を見張るものがあります。伝統芸能と現代演劇を融合させた新しい舞台が毎月のように試みられています。こうした演劇分野の専門家とも交流しつつ、古典文芸がふん



「高野聖」が載っている文庫本

■広報室では、皆様の声をお待ちしております。
ご意見・ご要望などをお寄せください。
【宛先】
宇都宮大学 企画広報室
〒321-8505 宇都宮市峰町350
TEL 028-649-8649 FAX 028-649-5026
E-mail plan@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

宇都宮大学
携帯サイトへGO!

宇都宮大学 企画・編集

UU
now

編集後記

2009.Winter

宇都宮大学 冬季・省エネキャンペーン
平成20年12月～平成21年3月はじめよう
指1本から
できるエコ

- 指一本でできること
- ・エアコンの室温設定は19度にしよう
- ・エアコンや照明は使わないときはこまめに消そう
- ・必要のない廊下やトイレなどの照明は消すようにしよう
- ・電気製品の省エネモードを活用しよう

宇都宮大学環境・施設整備委員会、同環境部会 / 環境 ISO 学生委員会
http://www.utsunomiya-u.ac.jp/